



期日	令和5年7月19日（水）	時間	18:30～19:30	場所	鳴鹿コミュニティセンター
参加者	鳴鹿地区／7人 …区長会役員、まちづくり協議会役員、PTAなど				
	坂井市／9人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、産業政策部長、生活環境部長				

## 参加者からの意見・提案等

**Q.**災害級の雨が降ると、川や道路、山林、田んぼなど被害も広範囲に及びます。

市に復旧支援の相談に来てもそれぞれ所管が異なり、別々の部署に対応を求めなければならず、住民にとって非常に負担です。何とか改善できませんか。

**Q.**山林が崩れて道路や田んぼに土砂被害がありました。市や県の管理下でない

区道や山林の場合、どこからも復旧支援は受けられないのでしょうか。

**Q.**河川の改修は部分的ではなく上流域から下流域まで一気にすべき。近年多発

する大雨で氾濫しないよう、流下能力を上げる対策をお願いします。

**Q.**北陸最大と認められた六呂瀬山古墳の出土品を展示し、価値を広く発信する

ための資料館を、古墳の近くに建設してほしいです。

**Q.**子どもの運動能力向上のためにも、学校以外で安全にスポーツができる場所

があるといいと思います。鳴鹿第二コミセン前の公園を、サッカー専用グラウンドとして有効活用できませんか。

**Q.**鳴鹿小学校の来年の入学者は一桁です。ますます進む少子高齢化に歯止めを

かけるためにも、坂井市が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具体的な取り組みをしっかりと進めてほしいです。また、市からまち協への補助金は、現状維持または増額をお願いしたいです。

## 市からの返答

**A.**災害復旧の相談窓口を危機管理対策課で一元化し、そこから各所属につないでいく体制を検討します。皆さんの不安を、いち早く解消できるよう体制を整えます。

**A.**管轄の違いや、直接支援できる制度のない分野もありますが、様々な制度を確認し、工夫することも必要だと思います。近年の災害規模や被害状況も考慮して、何らかの支援ができるよう検討します。

**A.**浚渫のサイクルや堤防構造の改良検討、改修費用の確保など、市と県で連携していくことはもちろん、住民からの強い声として関係機関にしっかりと伝えます。

**A.**石棺はまだ細かい調査を終えていないのですが、古墳とその周辺整備も含めて、保存活用に向けた計画を整えていきます。長い時間が必要ですが、市の史跡、そして地元の誇りとして、広く価値を知ってもらえるよう整備を進めていきます。

**A.**公園整備は、計画に基づき順次進めており、ご意見を参考にしながら検討していきたいと思います。

**A.**人口減少対策として、市では結婚応援、子育て支援、移住定住支援に力を入れています。また、地域でのいろいろな取り組みが、活力や連帯感につながります。地域の皆さんで知恵を絞って、活力を創出するアイデアなどを検討し、市にご相談いただけたらと思います。